

10. 母子保健

妊産婦・乳幼児の健康保持増進を目的に、妊娠から幼児の成長に至る一連の過程を対象として、母子保健事業を実施している。

具体的には、妊娠届の受理、母子健康手帳の交付、母親学級・パパママ準備教室、健康診査、医療費助成、訪問指導等、母子保健に係る各種の業務に積極的に取り組んでいる。



[1] 妊娠届出状況（母子保健法第15条）

（単位：人）

区分 年度	総数	妊 婦 週 数（月）					
		満11週以下 （3か月以下）	満12～19週 （4～5か月）	満20～27週 （6～7か月）	満28週以上 （8か月以上）	分娩後	不明
29	2,594	2,431	127	19	13	0	4
30	2,605	2,422	139	24	12	1	7
元	2,523	2,374	109	17	16	3	4
2	2,446	2,330	91	13	9	3	0
3	2,306	2,210	70	12	10	1	3

[2] 母子健康手帳の交付（母子保健法第16条）

（単位：件）

母子の健康管理の一助として妊娠届出の際、母子健康手帳と妊婦健診受診票を交付している（妊娠届出者数は上記1表参照）。

手帳交付者と転入届出妊婦の方へは、母親学級のお知らせ、赤ちゃん訪問の申し込はがきなどが入っている「母と子の保健バッグ」を交付している。

※母子健康手帳を東京都作成の「子供手帳モデル」に変更。

低出生体重児等に対応する記録欄、学齢期にも対応する記録欄、妊娠や育児の不安解消に資する情報、父親の育児参画の促進に資する情報、都の子育て情報・相談窓口の情報、保護者に寄り添うメッセージ等が盛り込まれている。

区分 年度	件数
29	2,729
30	2,749
元	2,672
2	2,527
3	2,398

（注）再交付・双子等（2人目以降）の交付を含む。

(1) ゆりかご面接（妊娠時届出面接）

（単位：人）

妊娠中のさまざまな不安を軽減し、安心して出産を迎えるために平成27年7月から、妊婦の方全員にゆりかご相談員（助産師）又は、保健師が面接を実施している。ゆりかご面接を実施した方に妊娠・出産に関わるグッズを贈呈している。

なお、令和2年度については、妊婦に対する新型コロナウイルス感染予防対策として、育児パッケージ（タクシー券等）を追加配付した。

区分 年度	ゆりかご面接	ゆりかご支援計画
29	1,656	91
30	1,652	66
元	1,681	59
2	2,221	50
3	1,545	47
池袋	1,133	34
長崎	412	13

(2) 妊婦のための母乳教室（母子保健法第9条）

妊娠期からの母乳育児支援のために、平成27年11月からゆりかご相談員（助産師）が教室を実施している。

(3) プレママサロン（ゆりかご・ふらっと）

産後の育児の孤立化を防ぐために、平成27年12月からゆりかご相談員（助産師）が妊婦同士の交流やグループワーク、ミニ講座を実施している。

（単位：人）

年度	区分	妊婦のための母乳教室		プレママサロン	
		回数（回）	人数（人）	回数（回）	人数（人）
29		19	135	24	114
30		18	138	24	72
元		16	128	21	52
2		13	70	17	37
3		15	65	21	43
	池袋	9	37	9	18
	長崎	6	28	12	25

[3] 母親学級・パパママ準備教室(母子保健法第9条)

母親学級は、妊婦を対象に、母性の保護や出産・育児に関して正しい知識を身につけてもらうための講座を実施している。具体的には、妊娠中の生理や栄養の問題、お産の準備や産後の生活、沐浴実習、保育方法や歯科衛生等についての指導を行なっている。

パパママ準備教室は、母体の健康と児の養育を父母共同の責任としてとらえ、父親としての役割を学ぶことを目的としている。具体的には、父親としての心構え、妊婦体験、沐浴実習等についての指導を行なっている。

□事業実績

年度	区分	母親学級				パパママ準備教室（休日）	
		実施回数（回）		実人数（人）	受講者数（人）	実施回数（回）	受講者数（人）
		平日3日制	休日1日制				
29		54		367	1,029	21	1,097
30		54		300	823	21	1,073
元		33	6	308	678	23	1,116
2		16	12	289	506	24	955
3		18	12	305	473	31	1,216
	池袋					31	1,216
	長崎	18		86	254		

（注）パパママ準備教室は、平成17年度から池袋保健所・長崎健康相談所合同にて休日午後に池袋で実施。平成24年度から午後に加え午前の教室も追加。母親学級（池袋）は令和元年10月から土曜日1回コースに変更。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、母親学級、パパママ準備教室ともに定数を減らして実施した。令和3年9月から、区民の要望に対応し土曜日の午後の教室を追加し実施。

[4] 妊婦健康診査(母子保健法第13条)

(1) 妊婦健康診査

妊婦及び胎児の健康状態を把握し、母体の健康維持増進や胎児の成長を促し、異常の早期発見、健康状態に応じた医療につなげることを目的とする。妊婦を対象に、前期(妊娠23週まで)、後期(妊娠24週以降)の各1回、公費負担の健康診査を実施していたが、平成20年度から公費負担回数を最大14回まで増やし、公費負担となる検査項目の見直しを行なった。平成28年度には検査項目にH I V抗体検査が追加された。(東京都内の契約医療機関業務委託)

□妊婦健康診査実施状況(医療機関委託)

【1回目】

(単位：人)

区分 年度	受診票受理数	所見内訳(延数)					区市町村への連絡事項内訳(延数)			
		異常なし	症妊娠候高血群圧	貧血	糖尿	その他	要訪問指導するを	治当療院指に導て	要精密	その他
29	2,406	2,299	2	10	1	94	1	950	12	13
30	2,476	2,360	1	9	2	104	3	1,024	36	6
元	2,328	2,192	5	6	4	121	1	933	48	18
2	2,271	2,153	2	9	2	105	0	805	47	12
3	2,179	2,101	3	7	3	65	0	791	36	6

(注) 都内転出は発行地で公費負担。

【2回目以降】

(単位：人)

区分 年度	受診票受理数	所見内訳(延数)					区市町村への連絡事項内訳(延数)			
		異常なし	症妊娠候高血群圧	貧血	糖尿	その他	要訪問指導するを	治当療院指に導て	要精密	その他
29	23,600	22,329	16	269	93	942	12	11,294	108	87
30	23,655	22,497	14	238	98	808	26	11,195	139	98
元	22,370	21,324	7	248	119	672	15	10,409	171	121
2	22,352	21,510	11	235	44	552	17	9,166	140	59
3	22,255	21,276	19	245	56	659	23	9,562	219	46

(2) 妊婦超音波検査（母子保健法第13条）

平成8年10月から、出産予定日現在満35歳以上の妊婦を対象に、妊婦健康診査（妊娠後期）の検査項目に超音波検査を加え、妊婦が安心して妊娠・出産をするための環境づくりを図っている。（東京都内契約医療機関業務委託）

平成21年度から年齢制限を廃止し、すべての妊婦に対し超音波検査1回分の費用を助成している。

□妊婦超音波検査実施状況

（単位：人）

区分 年度	受診票受理数	総合判定結果 内訳（実数）			区市町村への連絡事項 内訳（延数）			
		異常なし	その他	不明	要訪問指導を する	経過観察は 治療観	要精密	その他
29	2,055	2,014	26	15	3	772	0	7
30	2,086	2,058	22	6	0	1,003	0	5
元	1,982	1,965	17	0	3	1,000	0	10
2	1,923	1,907	14	2	1	805	2	5
3	1,915	1,893	20	2	1	839	4	2

(3) 妊婦子宮頸がん検診

平成28年度から公費負担検査項目に追加され、原則として1回目の妊婦健康診査で実施している。（東京都内契約医療機関業務委託）

□妊婦子宮頸がん検診

（単位：人）

区分 年度	受診票受理数	総合判定結果 内訳（実数）			区市町村への連絡事項 内訳（延数）			
		異常なし	その他	不明	要訪問指導を する	経過観察は 治療観	要精密	その他
29	2,209	2,128	31	50	1	693	9	3
30	2,281	2,240	36	5	3	867	15	0
元	2,199	2,161	35	3	0	866	15	6
2	2,167	2,136	30	1	2	730	11	2
3	2,064	2,035	22	7	2	751	5	0

[5] 里帰り等妊婦健康診査・新生児聴覚検査助成事業

□里帰り等妊婦健康診査・新生児聴覚検査助成事業
(単位：人)

東京都契約医療機関以外の医療機関又は助産所で健康診査を受診した妊婦に対し、費用の一部を助成する制度(里帰り等妊婦健康診査助成)を実施している。

なお、平成31年4月から、新生児聴覚検査費用の助成を開始したが、里帰り等妊婦健康診査助成と併せて申請できるよう実施している。

年度	区分	助成人数	内訳		新生児聴覚検査助成人数
			里帰り	助産所	
29		548	536	12	—
30		505	489	16	—
元		430	409	21	221
2		428	412	16	291
3		427	414	13	291

[6] 妊産婦・新生児訪問指導

□妊婦・産婦訪問状況 (単位：人)

(1) 妊産婦訪問指導 (母子保健法第17条)

妊婦及び産後1年を経過しない産婦を対象に家庭訪問し、日常生活等の指導を行なうとともに、異常の発生防止、早期発見に努めている。産婦訪問指導は新生児訪問時に合わせて行なっている。

なお、妊婦訪問に当たっては、妊娠・分べんに際し異常の予測される者(若年・高年初産婦・妊娠高血圧症候群等)や特定妊婦^(注)を重点に行なっている。

(注) 特定妊婦とは、出産後の子どもの養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる(ハイリスク要因を特定できる)妊婦のことをいう。

年度	区分	妊婦	産婦
		妊婦訪問 (実人数)	産婦訪問 (実人数)
29		14	2,021
30		30	1,977
元		27	1,945
2		21	1,625
3		15	1,680
	池袋	14	1,158
	長崎	1	522

(2) こんにちは赤ちゃん事業 (豊島区こんにちは赤ちゃん事業実施要綱)

①乳児家庭全戸訪問事業 (児童福祉法第6条の3)

平成20年度からこんにちは赤ちゃん事業として生後4か月を迎えるまでの乳児のいるすべての家庭に訪問し、子育てに必要な情報提供等の育児支援及び母性や乳児に対する健康の保持増進に努め、家庭の孤立化を防ぎ健全な育児環境の確保を図ることを目指している。

②新生児訪問指導 (母子保健法第11条)

生後28日未満(里帰り出産等により訪問が困難なときは生後60日まで)の新生児を対象に保健師・指導員(助産師)が家庭訪問し、疾病予防、発育、栄養、環境等について、保護者に適切な指導を行なうとともに異常の早期発見、治療等について指導している。

□区内赤ちゃん訪問実績

(単位：人)

区分 年度	出生数 (※)	赤ちゃん訪問	訪問率 (%)	訪問職種内訳		新生児 訪問指導 (再掲)
				保健師 実訪問数	指導員 実訪問数	
29	2,109	2,103	99.7	601	1,502	286
30	2,009	1,989	99.0	497	1,492	247
元	1,936	2,019	104.3	596	1,423	229
2	1,842	1,634	88.7	510	1,124	219
3	1,868	1,709	91.5	485	1,224	240
池袋		1,176		404	772	193
長崎		533		81	452	47

(※)令和2年度までの出生数は、人口動態統計を用いていたため両親が外国籍の子を含まない。
赤ちゃん訪問には、両親が外国籍の子および年度途中転入の子を含む。

③未熟児訪問指導（母子保健法19条）

出生体重2,000グラム未満等身体の機能が未熟なまま出生した児を対象に、保健師が訪問指導を実施している。

□未熟児訪問実績

(単位：人)

区分 年度	未熟児訪問指導
29	82
30	49
元	66
2	43
3	32
池袋	29
長崎	3

④こんにちは赤ちゃん事業対応会議（豊島区こんにちは赤ちゃん事業実施要綱）

保健、子育て支援の関係機関が集まり、こんにちは赤ちゃん事業によって把握された要支援家庭の支援方針や内容を検討・決定する。

年 度	回数（回）	検討件数（実）	検討件数（延）
29	6	9	11
30	6	10	17
元	6	8	15
2	5	5	7
3	4	5	8

[7] 妊産婦・乳幼児保健指導（母子保健法第10条）

経済的理由により保健指導（定期健診）を受け難い妊産婦・乳幼児に対して、医療機関での定期健診を無料で必要な指導を受けられるように保健指導票を交付している。

（単位：件）

年度	区分	受診件数	内訳		
			妊婦	乳児	産婦
29		92	79	5	8
30		120	107	5	8
元		72	50	13	9
2		28	20	4	4
3		44	36	4	4

[8] 先天性代謝異常等検診（母子保健法第13条）（東京都事業）

フェニルケトン尿症等の先天性代謝異常症は、発見が遅れると心身障害をおこすおそれの高いもので、早期新生児についてごく微量の血液検査（マス・スクリーニング検査）を実施し、異常を早期に発見し、早期治療に結びつけることにより後の治療と障害の発生防止を行なっている。

検診の結果、異常と認められた場合は、専門医療機関で精密検査を受けられるように指導し精密検査の結果、治療が必要な方には公費負担の制度が適用される。

東京都では、平成24年4月1日から、タンデムマス法検査を導入することにより、対象疾患が6疾患から19疾患となった。

検査対象の疾病

- 〈アミノ酸代謝異常〉 フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症（楓糖尿症）、ホモシスチン尿症、シトルリン血症1症、アルギニノコハク酸尿症
- 〈有機酸代謝異常〉 メチルマロン酸血症、プロピオン酸血症、イソ吉草酸血症、メチルクロトニルグリシン尿症、ヒドロキシメチルグルタル酸血症（HMG血症）、複合カルボキシラーゼ欠損症、グルタル酸血症1型
- 〈脂肪酸代謝異常〉 中鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症（MCAD欠損症）、極長鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症（VLCAD欠損症）、三頭酵素／長鎖3-ヒドロキシアシルCoA脱水素酵素欠損症（TFP/LCHAD欠損症）、カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ1欠損症（CPT-1欠損症）
- 〈糖質代謝異常〉 ガラクトース血症
- 〈内分泌疾患〉 先天性甲状腺機能低下症（クレチン症）、先天性副腎過形成症

[9] 新生児聴覚検査

聴覚障害は、早期に発見され適切な支援が行われた場合には、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから、その早期発見・早期療育を図るために全ての新生児を対象として、平成31年4月から新生児聴覚検査を実施している。里帰り等による新生児聴覚検査助成人数は、P116の[5]里帰り等妊婦健康診査・新生児聴覚検査助成事業を参照。

□初回検査実施状況

(単位：人)

年度	確認人数	確認状況				検査結果		
		検査実施	検査 未受診	不明	実施率	パス (※1)	リファー (※2)	リファー率
元	2,255	1,904	30	321	84.4%	1,898	19	1.0%
2	2,202	1,928	17	257	87.6%	1,908	20	1.0%
3	2,255	2,036	12	207	90.3%	2,017	19	1.0%

(※1)パス：今のところ聞こえに問題なし

(※2)リファー：より詳しい検査が必要

□確認検査実施状況

(単位：人)

年度	検査実施状況			検査結果		
	対象数	検査実施	実施率	パス	リファー	リファー率
元	19	11	57.9%	6	5	45.5%
2	20	8	40.0%	4	4	50.0%
3	19	11	57.9%	6	5	45.5%

□精密検査実施状況

(単位：人)

年度	検査実施状況			検査結果			
	対象数	検査実施	実施率	一側性難聴	両側難聴	正常	評価不能
元	5	4	80.0%	1	0	3	0
2	4	4	100.0%	0	1	3	0
3	5	3	60.0%	1	2	0	0

[10] 産後ケア事業

専門職が常駐する宿泊施設において産後の心身のケアと育児などの指導助言を行う産後ケアについて、家族等から十分な家事、育児の援助が受けられず、産後心身の不調、育児不安が認められる産後4か月未満の母子を対象に、利用料の助成を行なっている。

年 度	申請者 (人)	利用実人数 (人)	利用延日数 (日)
30	98	80	463
元	104	70	300
2	166	109	423
3	193	123	506

(注)平成30年度から事業開始。

[11] 多胎児家庭移動経費補助事業

3歳未満の多胎児を育てる保護者に対し、保健師等が面接を実施し必要な支援につなげるとともにタクシーチケットとして使える金券を支給する。

(単位：世帯)

区分 年度	0歳児		1歳児		2歳児		計	
	対象数	面接・金券支給数	対象数	面接・金券支給数	対象数	面接・金券支給数	対象数	面接・金券支給数
3	50	41	38	21	36	20	124	82

(注) 年度途中で誕生日を迎えた児は年度内に2回の支給を受けている場合がある。対象数は、年度内の多胎児の出生数とは異なる。

[12] 乳幼児健康診査

(1) 3～4か月児健康診査（母子保健法第13条）

生後3～4か月の乳児を対象として、健康診査及び、保健指導を行ない、健康診査の結果異常が認められる乳児に、精密健康診査を実施している。また、健診と別日に栄養士（13. 栄養指導 [1] 一般栄養指導 集団栄養指導実施状況・内訳）・歯科衛生士（12. 歯科保健 [2] 歯科集団指導 (1) 乳児健診歯科集団指導）による保健指導を行なっている。

□3～4か月児健康診査実施状況

(単位：人)

区分 年度	対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率 (%)	有 所 見 者 数	所 見 内 訳 (延数)													精 密 健 康 診 査 受 診 票 発 行 数 (延数)
					発 育	皮 膚	頭 頸 部	顔 面 口 腔	眼	耳 鼻 咽 喉	胸 部 腹 部	鼠 径 外 陰 部	背 部	四 肢	発 達 神 経	そ の 他		
29	2,222	2,069	93.1	755	169	512	67	15	27	33	79	33	6	84	161	45	128	
30	2,142	2,002	93.5	700	173	479	59	11	23	35	78	33	14	67	138	40	111	
元	2,053	1,936	94.3	670	119	465	69	17	24	20	56	40	18	114	85	44	125	
2	2,027	1,773	87.5	492	119	373	93	21	19	22	56	26	15	84	45	43	90	
3	1,981	1,821	91.9	615	111	464	155	22	16	33	50	34	7	124	40	51	129	
池袋	1,360	1,242	91.3	418	71	312	116	15	12	27	40	24	4	95	25	39	98	
長崎	621	579	93.2	197	40	152	39	7	4	6	10	10	3	29	15	12	31	

□3～4か月児精密健康診査実施状況

(単位：人)

区分 年度	受 診 票 発 行 数	結 果 把 握 率 (%)	結 果 把 握 数	依 頼 内 容 内 訳 (延数)																							
				内科的				皮膚科的		眼科的		耳鼻科的		外科的		泌尿器科的			整形外科的					そ の 他			
				体 重 増 加 不 良	心 雑 音	特 異 顔 貌 ・ 変 質 徴 候	神 経 学 的 異 常	発 達 的 遅 れ	そ の 他	母 斑	そ の 他	斜 視	眼 脂 ・ 流 涙	そ の 他	外 耳 奇 形	そ の 他	鼠 径 ヘル ニア	そ の 他	停 留 鞏 丸 ・ 移 動 鞏 丸	陰 の う 水 腫	そ の 他	股 関 節 の 異 常	内 反 足		そ の 他 の 四 肢 の 異 常	斜 頸	胸 郭 の 異 常
29	128	98.4	126	7	7	0	1	3	0	13	0	0	2	0	0	0	9	2	2	6	55	0	1	0	1	10	7
30	111	85.6	95	6	8	0	3	4	2	9	1	0	1	3	2	0	5	0	1	1	32	7	0	1	0	3	6
元	142	73.2	104	1	4	0	0	2	0	8	3	0	0	1	2	0	0	0	0	3	71	0	3	1	0	2	3
2	90	64.4	58	2	2	0	2	1	0	1	2	0	1	0	0	0	2	1	0	1	36	1	1	4	0	0	1
3	129	83.7	108	0	3	0	0	4	1	4	0	0	1	1	0	1	2	1	3	0	84	0	2	0	0	0	1

(注) 年度内に結果を把握できた受診票について集計する。受診票発行数とは一致しない。

(2) 6～7か月児及び9～10か月児健康診査（母子保健法第13条）

乳児の健康保持増進について、より一層の徹底を図るため、3～4か月児健診時に健康診査受診票を配付し、医療機関に委託して下記のとおり健康診査を実施している。

□6～7か月児健康診査実施状況

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	受診率(%)	結果通知受理状況							
				総合判定(実数)				今後の指導(延数)			
				問題なし	問題あり	疑い	不明	で受診医療機関実施	区で実施	他機関管理中	その他
29	2,222	1,820	81.9	1,743	24	53	0	1,117	5	21	2
30	2,142	1,681	78.5	1,626	24	30	1	786	7	35	3
元	2,053	1,905	92.8	1,831	32	40	2	1,093	10	35	2
2	2,027	1,730	85.3	1,666	25	39	0	1,017	6	32	0
3	1,981	1,693	85.5	1,641	16	36	0	953	12	22	0

□9～10か月児健康診査実施状況

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	受診率(%)	結果通知受理状況							
				総合判定(実数)				今後の指導(延数)			
				問題なし	問題あり	疑い	不明	で受診医療機関実施	区で実施	他機関管理中	その他
29	2,222	1,759	79.2	1,698	26	34	1	1,002	12	29	5
30	2,142	1,614	75.4	1,568	19	27	0	751	7	21	1
元	2,053	1,824	88.8	1,755	29	39	1	1,005	11	34	0
2	2,027	1,647	81.3	1,597	22	28	0	912	4	22	2
3	1,981	1,615	81.5	1,571	10	34	0	903	14	21	0

(3) 1歳6か月児健康診査（母子保健法第12条）

1歳6か月児に対し、身体面、精神発達面の健康診査及び歯科健診を実施し、適切な相談及び指導を行ない、幼児の健全な育成を期している。なお、内科健診は区内医療機関に委託し、歯科健康診査、保健指導、栄養指導、言葉の相談は保健所で実施している。また、健診の結果、異常が疑われる者に対して必要に応じ専門医療機関で精密健康診査を行ない、心理面については心理相談を実施し、必要に応じて経過観察健康診査等を実施している。

歯科健康診査の結果は、12. 歯科保健 [2] 歯科集団指導を参照。

□1歳6か月児健康診査

(単位:人)

区分 年度	対象者数	委 託 実 績			保 健 指 導		
		内科健診	有所見者数	受診率(%)	精 密	受診者数	受診率(%)
29	2,016	1,751	80	86.9	1	1,693	84.0
30	2,055	1,769	91	86.1	0	1,780	86.6
元	2,059	1,791	119	87.0	0	1,752	85.1
2	1,984	1,788	118	90.1	0	1,725	86.9
3	1,867	1,642	116	87.9	0	1,588	85.1
池袋	1,262	1,097	67	86.9	0	1,055	83.6
長崎	605	545	49	90.1	0	533	88.1

□1歳6か月児健康診査心理相談の受診状況及び結果（心理相談）

(単位:人)

区分 年度	健康診査受診者数 1歳6か月児	心理相談実施数	相談項目 (延数)	相談項目内訳 (延数)											
				問 題 な し	精 神 発 達 の 問 題	こ と ば の 問 題	く せ の 問 題	行 動 ・ 性 格 の 問 題	社 会 性 の 問 題	生 活 習 慣 の 問 題	養 育 者 の 問 題	家 庭 ・ 環 境 の 問 題	疾 患 ・ 障 害 の 疑 い	そ の 他	
心 理 相 談	29	1,693	192	4	3	70	4	44	39	3	6	6	2	11	
	30	1,780	137	230	3	3	95	1	62	38	4	16	4	0	4
	元	1,752	108	187	1	3	79	0	52	27	3	13	6	0	3
	2	1,725	109	184	6	3	79	4	45	28	1	7	4	3	4
	3	1,588	117	207	7	3	89	2	50	33	2	11	3	0	7
	池袋	1,055	94	175	6	2	75	1	41	30	2	10	3	0	5
長崎	533	23	32	1	1	14	1	9	3	0	1	0	0	2	

□1歳6か月児経過観察健康診査心理相談の受診状況及び結果（心理経過）

（単位：人）

年度	区分	心理経過観察予約者数	心理相談実施数(延数)	相談項目(延数)	相談項目内訳(延数)										
					問題なし	精神発達の問題	ことばの問題	くせの問題	行動・性格の問題	社会性の問題	生活習慣の問題	養育者の問題	家庭・環境の問題	疾患・障害の疑い	その他
心理相談	29	166	138	342	7	16	118	0	73	95	1	15	12	1	4
	30	174	152	333	6	8	121	0	78	89	3	9	5	9	5
	元	160	137	282	3	10	101	1	75	62	3	14	4	5	4
	2	176	158	312	2	7	128	4	70	74	5	9	7	2	4
	3	167	145	264	4	3	120	2	60	57	4	8	4	2	0
	池袋	99	83	170	2	2	70	1	41	40	2	7	4	1	0
	長崎	68	62	94	2	1	50	1	19	17	2	1	0	1	0

(4) 3歳児健康診査（母子保健法第12条）

3歳児を対象に、健康診査、歯科健康診査、栄養相談、心理相談及びこれらの結果に基づく保健指導を実施している。また、健康診査の結果、異常が疑われる場合は、専門医療機関で必要な精密健康診査を行ない、心理面については、経過観察健康診査等を実施している。

歯科健康診査の結果は、12. 歯科保健 [2] 歯科集団指導を参照。

□3歳児一般健康診査の受診状況及び結果

（単位：人）

年度	区分	対象者数	受診者数(実数)	受診率(%)	有所見者(実数)
29		1,936	1,788	92.4	421
30		1,916	1,766	92.2	432
元		1,963	1,754	89.4	390
2		1,987	1,874	94.3	415
3		1,920	1,760	91.7	413
	池袋	1,288	1,182	91.8	271
	長崎	632	578	91.5	142

□3歳児健康診査実施状況

(単位：人)

区分 年度	有所見者数	所見内訳(延数)													尿蛋白 陽性(再掲)	受診票 発行数	精密健康診査 受診者数	精密健康診査受診者数
		発育	皮膚	頭部・顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉	胸部・腹部	鼠径外陰部	背部四肢	運動	精神	言語	日常習慣	その他				
29	421	71	99	7	104	89	26	51	19	6	47	113	33	92	17	147	118	
30	432	79	124	9	87	92	36	40	22	2	30	84	37	70	15	111	93	
元	390	91	125	13	110	72	41	54	32	10	43	115	39	47	15	125	121	
2	415	86	89	12	135	89	52	39	35	9	46	132	81	73	4	159	117	
3	413	60	92	12	137	100	37	43	24	7	51	163	65	76	6	198	135	
池袋	271	32	63	6	93	61	27	19	14	6	34	116	44	53	4	120	80	
長崎	142	28	29	6	44	39	10	24	10	1	17	47	21	23	2	78	55	

□3歳児精密健康診査実施状況

(単位：人)

区分 年度	受診票発行数	結果把握率(%)	結果把握数	依頼内容内訳(延数)																								
				内科的				皮膚科的		眼科的			耳鼻科的		外科的		泌尿器科的			整形外科的			精神・言語		その他			
				低身長	心雑音	尿蛋白陽性	蛋白以外の尿の異常	その他	母斑	その他	視力の異常	斜視	その他	聴覚の異常	その他	鼠径ヘルニア	その他	停留嚢丸・移動嚢丸	茎他	その他	X脚	その他の四肢の異常	胸郭の異常	その他	精神発達遅滞	言語発達遅滞	その他	
29	147	80.3	118	13	7	3	14	1	1	0	28	0	1	31	1	0	0	11	0	4	2	0	0	1	0	0	0	0
30	111	83.8	93	11	7	2	17	2	0	1	25	3	0	12	1	0	0	7	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0
元	125	96.8	121	20	8	5	20	2	1	0	31	6	0	11	0	0	1	12	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
2	159	68.6	109	10	14	2	12	0	1	1	35	2	1	15	1	3	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3	198	68.2	135	6	11	2	12	0	0	1	53	5	5	20	4	0	0	11	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2

(注) 年度内に結果を把握できた受診票について集計する。受診票発行数とは一致しない。

□3歳児視力精密健康診査実施状況

(単位:人)

区分 年度	視力 検診 受診者 数	精密 健診 受診票 発行数	結果 把握 数 (※)	結果 把握 率 (%)	結果内訳(実数)										弱視 発見 率 (%)			
					異 常 な し	有 所 見 者 実 数	有所見者内訳(実数)										結果不明・ 受診中断等	
							弱視あり					弱視なし又は弱視の 有無不明						
							不同視 弱視	斜視 弱視	屈折 弱視	その他 ・種類不明 の弱視	斜視 (偽内 斜視を 除く)	屈折 異常	その他 の疾患					
29	1,788	48	29	60.4	10	19	4	1	4	1	0	3	6	0	0.6			
30	1,766	42	28	66.7	10	17	3	1	4	2	1	3	3	1	0.6			
元	1,754	49	37	75.5	7	30	2	0	10	1	4	9	4	0	0.7			
2	1,874	58	35	60.3	13	21	3	0	10	1	1	2	4	1	0.7			
3	1,760	78	63	80.8	15	46	8	1	13	3	2	4	15	2	1.4			

(※) 年度内に結果を把握できた受診票について集計する。受診票発行数とは一致しない。

□3歳児聴覚精密健康診査実施状況

(単位:人)

区分 年度	聴覚 検診 受診者 数	精密 健診 受診票 発行数	結果 把握 数 (※)	結果 把握 率 (%)	結果内訳(実数)										感音 難聴 発見 率 (%)	難聴 発見 率 (%)	
					異 常 な し	有 所 見 者 実 数	有所見者内訳(実数)							結果不明・ 受診中断等			
							感音 難聴	滲出性中耳炎		言語発達 遅滞		その他の疾患					
								難聴 あり	難聴なし 又は難聴 の有無不 明	難聴なし 又は難聴 の有無不 明	難聴 あり	難聴なし 又は 難聴の 有無不明					
29	1,788	33	32	97.0	23	9	1	2	3	0	3	0	0	0.1	0.3		
30	1,766	24	13	54.2	8	5	0	1	2	2	0	0	0	0.0	0.1		
元	1,754	17	11	64.7	8	3	2	0	0	0	0	0	1	0.1	0.1		
2	1,874	22	15	68.2	11	4	0	0	0	0	2	2	0	0.0	0.1		
3	1,760	36	23	63.9	11	10	2	0	1	0	2	5	2	0.1	0.2		

(※) 年度内に結果を把握できた受診票について集計する。受診票発行数とは一致しない。

□3歳児健康診査心理相談の受診状況及び結果（心理相談）

（単位：人）

年度	区分	3歳児 健康診査受診者数	心理 相談 実施数	相談項目 (延数)	相談項目内訳（延数）										
					問 題 なし	精 神 発 達 の 問 題	こ と ば の 問 題	く せ の 問 題	行 動 ・ 性 格 の 問 題	社 会 性 の 問 題	生 活 習 慣 の 問 題	養 育 者 の 問 題	家 庭 ・ 環 境 の 問 題	疾 患 ・ 障 害 の 疑 い	そ の 他
心理 相 談	29	1,788	74	181	1	6	39	6	51	38	1	8	10	15	6
	30	1,766	77	191	4	7	35	0	57	38	2	13	7	24	4
	元	1,754	98	225	5	10	57	8	63	40	6	11	7	15	3
	2	1,874	85	152	5	2	43	4	49	24	5	5	3	9	3
	3	1,760	103	209	2	7	62	2	69	32	1	6	12	15	1
	池袋	1,182	76	172	1	7	48	2	54	27	1	5	11	15	1
	長崎	578	27	37	1	0	14	0	15	5	0	1	1	0	0

□3歳児経過観察健康診査心理相談の受診状況及び結果（心理経過）

（単位：人）

年度	区分	心理経過 観察予約者数	心理 相談 実施数 (延数)	相談項目 (延数)	相談項目内訳（延数）										
					問 題 なし	精 神 発 達 の 問 題	こ と ば の 問 題	く せ の 問 題	行 動 ・ 性 格 の 問 題	社 会 性 の 問 題	生 活 習 慣 の 問 題	養 育 者 の 問 題	家 庭 ・ 環 境 の 問 題	疾 患 ・ 障 害 の 疑 い	そ の 他
心理 相 談	29	39	32	70	1	4	15	1	15	23	1	2	1	5	2
	30	26	26	62	0	4	10	0	15	19	0	1	2	6	5
	元	43	42	92	1	2	16	0	30	28	1	5	3	1	5
	2	37	37	90	1	4	17	1	24	22	1	4	3	6	7
	3	30	29	68	0	3	16	0	22	16	1	2	3	4	1
	池袋	15	14	40	0	1	10	0	10	11	0	1	3	3	1
	長崎	15	15	28	0	2	6	0	12	5	1	1	0	1	0

- (5) 乳幼児経過観察（母子保健法第13条）
 3～4か月児健診等の結果、経過観察の必要な乳幼児を対象として、小児科医師による経過観察健診を実施し、乳幼児の健全な育成と異常の早期発見に努めている。

年度	区分	回数(回)	延人数(人)
29		36	182
30		36	170
元		36	119
2		17	67
3		27	110
	池袋	15	71
	長崎	12	39

[13] 妊娠高血圧症候群等医療費助成（豊島区妊娠高血圧症候群等医療費助成実施要綱）

妊婦が妊娠高血圧症候群あるいは糖尿病等になり患すると、未熟児や障害児発生の要因になるなど出生児への影響が著しいばかりでなく、母体の生命にも直接係わるので、早期に適切な処置が受けられるよう医療費の助成を実施している。

年	区分	助成実人数（人）
29		5
30		7
元		0
2		1
3		3

[14] 未熟児養育医療給付（母子保健法第20条）

未熟児は、正常の新生児に比べて生理的に異常のあるケースが多く、また疾病にもかかりやすく、かつ障害児の発生率も高いとされている。そこで、必要な場合には指定の医療機関において、すみやかに適切な処置を講じられるよう、養育医療給付事業を実施している。

なお、対象となる未熟児とは、出生時体重が2,000グラム以下、又は生活力が特に弱い児である。

年度	区分	給付延人数（人）
29		194
30		168
元		157
2		154
3		170

[15] 自立支援医療(育成医療)（障害者総合支援法第58条）・療育給付（児童福祉法第20条、第21条の9）

障害者総合支援法の規定に基づき、身体に障害がある年少者に対して自立支援医療（育成医療）を、また、児童福祉法の規定に基づき、骨関節結核又はその他の結核に罹患している年少者に対して療育給付を実施している。

（単位：件）

年度	区分	育成医療申請件数	療育給付申請件数
29		6	0
30		5	0
元		8	0
2		6	0
3		9	0

[16] 特定不妊治療費助成

不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減をはかるため、「東京都特定不妊治療費助成事業」の承認決定を受けている区民に対し、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精、男性不妊治療）にかかった保険適用外の治療費の一部助成を平成29年7月3日から開始した。

区分 年度	助成 実人数(人)	助成 延件数(件)	うち 男性不妊治療費 件数(件)
29	78	96	1
30	195	262	2
元	205	271	2
2	283	407	1
3	366	500	1

[17] 乳幼児健康相談（母子保健法第9条）

池袋保健所管内3か所・長崎健康相談所管内3か所にて区の施設等を会場とし、保健指導・栄養指導及び、歯科相談を実施している。

□実施場所

池袋保健所管内	長崎健康相談所管内
①区民ひろば駒込 ③区民ひろば西池袋 ②区民ひろば南大塚（元年度より5か所→3か所）	①長崎健康相談所 ②区民ひろば要（※1） ③区民ひろば高松（※2）

（※1）令和3年1月～3月休止（改修工事のため）。令和3年4月以降、隔月実施。

（※2）令和3年1月以降実施。

□相談実施状況

区分 年度	回数 (回)	利用者数 (人)	池袋		長崎	
			回数 (回)	利用者数 (人)	回数 (回)	利用者数 (人)
			29	57	2,008	31
30	55	1,616	31	783	24	833
元	38	1,032	16	286	22	746
2	37	476	14	155	23	321
3	41	513	11	108	30	405

（※）新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、人数制限して実施となり、実施回数を増やし相談機会を確保した。

[18] 普及啓発・健康教育（母子保健法第9条）

(1) 子ども事故予防センター

子どもの死亡原因の上位を占める「不慮の事故」を減少させるために、「子ども事故予防センター」を開設し、パネル展示や事故予防に関する資料をそろえ、普及啓発活動を行なっている。

□ 来所者状況

(単位：人)

年度	区分	来所	内 訳								
			3歳以下健康診査月	1歳6か月健康診査児	3歳健康診査児	パパママ準備教室 母親学級	乳幼児保健診	区内保健者等	行政機関	・教育関係生者	・マスコミ(新聞雑誌等)
29		7,603	1,480	1,196	1,307	1,097	2,425	39	0	56	3
30		7,379	1,388	1,217	1,225	1,286	2,125	29	0	109	0
元		7,253	1,322	1,205	1,225	1,320	2,111	28	0	42	0
2		6,472	1,205	1,144	1,294	1,141	1,639	0	0	49	0
3		7,666	1,242	1,055	1,182	1,689	2,469	8	0	21	1

□心肺蘇生訓練状況

年度	区分	回数(回)	人数(人)
29		5	116
30		6	154
元		5	198
2		1	24
3		3	52
	池袋	2	36
	長崎	1	16

※この他、区内の保育園等へ人工呼吸・心臓マッサージの心肺蘇生訓練用人形の貸出を行なっている。

(2) 母乳・卒乳教室

母乳で育てたいと考えている母親を支援するため、母乳教室と卒乳教室を実施している。

年度	区分	母乳教室		卒乳教室	
		回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
29		21	99	13	202
30		22	61	14	211
元		20	78	12	136
2		19	52	14	72
3		21	105	14	75
	池袋	7	60	2	42
	長崎	14	45	12	33

(3) 子育て講座

初めての子育てをしている母親を対象に子育てを応援する講座を開催している。

□池袋：ようこそ新米ママのひろば

年度	区分	実施回数 (回)	参加者数(人)	
			親	子
元		11	96	96
2		9	62	62
3		10	79	158

□長崎：子育て講座

年度	区分	実施回数 (回)	参加者数(人)	
			親	子
29		4	83	83
30		4	62	60
元		3	51	51
2		4	31	31
3		6	53	54

(4) 子育て講演会

子育て中の悩み解決に向け、保護者の要望に応じた講演会を長崎健康相談所で実施している。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため開催中止。

年度	区分	回数 (回)	延人数 (人)
29		1	24
30		1	39
元		1	49
2		0	0
3		0	0

(5) 離乳食講習会等

13. 栄養指導 [1]一般栄養指導 (2) 集団栄養指導を参照。

年度	区分	回数 (回)	延人数 (人)
29		42	1,673
30		42	1,525
元		37	1,259
2		28	828
3		39	1,084
	池袋	33	994
	長崎	6	90

[19] 親子遊び教室

ことばの遅れや発達のアンバランスなどの主訴のある幼児と保護者を対象に、親子遊びをとおして集団活動を体験する機会を提供し、臨床心理士や作業療法士 (OT) のアドバイスを受けながら保護者の児への関わり方などを支援している。

□親子遊び教室心理相談の実施状況および結果

(単位：人)

年度	参加者(対象児)		相談項目内訳 (延数)				OT 指導数	西部子ども家庭支援センター紹介
	実人数	延人数	精神発達	運動発達	関わり方	その他		
29	29	71	62	1	2	1	36	9
30	24	53	53	0	0	0	14	14
元	25	60	60	0	0	0	25	8
2	15	33	33	4	5	0	10	6
3	18	55	45	0	3	0	15	4

(注) 平成23年度から、西部子ども家庭支援センター (OT、支援ワーカー) と共同事業で、月1回池袋保健所にて実施。

[20] 自主グループの支援

年度	区分	ツインスマイル		
		回数 (回)	参加者数(人)	
			親	子
29		2	27	26
30		2	19	22
元		2	28	35
2		2	13	11
3		2	12	14

(注) ツインスマイル…多胎児の親子の会。

[21] 乳幼児虐待の予防・早期発見 (母子保健法第5条)

母子保健事業においては、児の健全な育児支援と同時に、虐待の未然防止への啓発を行なっている。また、虐待ハイリスク者への支援として小集団指導や虐待相談としても個別対応している。

(1) グループミーティング

長崎健康相談所では平成18年度から、出産後の母親を対象に「育児を一人で抱え込まないで」をメッセージとして、保育体制を設け、子どもと離れた環境の下でグループミーティングを実施している。

年度	区分	おかあさんのお休み時間	
		実施回数 (回)	参加者数 (人)
29		12	63
30		12	62
元		11	58
2		11	40
3		12	55

(注) おかあさんのお休み時間…グループミーティングの名称。

(2) 虐待相談

養育環境の課題（機能不全家族、保護者の育児能力が低い、精神疾患等を抱えているにもかかわらず適切な治療を受けていないなど）や育て難さがある乳幼児など、他機関から連絡を受け虐待相談として対応している。また、乳幼児健診や育児相談などの場面にて、保護者自身や家族から相談を受け、他機関と連携するなどして個別対応・支援を行なっている。

[22] としま鬼子母神プロジェクト ～母子保健情報の提供・育児サポート～

全国的な人口減少問題に先駆的に取り組むため、平成26年7月から出産前からの切れ目のない子育て支援を展開していく「としま鬼子母神プロジェクト」を開始した。すべての人が安心して子どもを産み育てられる社会を目指し、健康・妊娠・出産・子育ての支援を通じて母性を育み、乳児の健康の保持増進に努めるとともに、家庭の孤立化を防ぐなど、健全な育児環境の確保を図るために、母子保健情報の提供や育児サポートを実施している。

(注1) 正式な「鬼子母神」の表記は「鬼」の上のツノがない字体になるが、本文中では「鬼」の文字を使用している。

(1) としまもっと見る知る ～結婚から出産・子育て応援アプリ～

平成26年9月1日から、女性と子育てのためのWEBサイト「としま見る知るモバイル」の配信を開始。

令和3年4月12日より、スマートフォン向けアプリ「としまもっと見る知る」へ移行。

乳幼児の誕生日を登録すると、自動計算された予防接種の接種時期が事前通知され、健診やイベント案内も配信している。そのほか結婚、妊娠前、妊娠中の女性が知っておきたい情報を積極的に掲載している。

(2) としま育児サポート手帳

乳幼児の健やかな成長と安心子育てを切れ目なく支援するためのツールとして、平成26年9月から、母子健康手帳交付時に別冊として配付していた。令和2年4月より母子健康手帳を東京都作成の「子供手帳モデル」に変更したことで、同等の内容が1冊にまとまったため、配付を終了した。

(3) としま育児サポーター

「としま育児サポーター」として、助産師が赤ちゃん訪問後のフォロー等きめ細かな支援を行なっている。

□ 見る知るモバイル・育児サポート実績

区分 年度	としまもっと見る知る 年度末登録者総数 (件)	育児サポート手帳交付数 (冊)	育児サポーター訪問相談 (人)
29	5,351	2,929	264
30	6,430	2,952	261
元	7,374	2,892	258
2	8,384	—	306
3	3,145	—	340

(※) 令和3年度としまもっと見る知るの登録者総数：旧見る知るモバイルから引き継がれていないことによる減。